◎研究発表記録用紙

第（　６　）学年「　てこのはたらき　」（羽後町立西馬音小・佐々木　修教諭）

記録者（北六番丁小　藤原　俊輔）

|  |  |
| --- | --- |
| 発言者 | 内容 |
| 質疑・応答  川前小  ・千葉  佐々木  佐藤  いさわ小  ・たんざわ  佐藤  佐々木  佐藤  岩手  佐々木 | ○担任の先生との打ち合わせについてどのように行っているか？  単元計画　単元の前に略案を　担任に　担任の意見も取り入れて  短い時間にはなってしまうが  担任の意見も取り入れて単元計画を考える  子どもの実態や担任の願いを取り入れて単元計画を  ○児童の考えから実験方法を考えさせる時の工夫は？  発展的な知識を与えて,子どもに選択させる。  ○探求的な授業は時間がかかるが時数確保の工夫は？  割り切ることが大事  考察　　実験　　力を入れるところ　メリハリが大事  力を入れるところ　はっきり決める  考察　実験  小学校でやっていることが中学校につながる  ○意欲が下がらないように次の実験につなげていく工夫は？  実験１　実験２　実験をやる段階では蒸散という言葉は知らない  実験がうまくいかない　予想と違う　子どものモチベーションにつなげていく  　　　　　　　　　　　　　　　　　「なぜほかのグループと違うのか」  自分たちで見つけていく |
| 指導・助言  富山小 | ○　結果，考察を大切にする探求のプロセスの往還がポイント  試行錯誤の場面　問題解決の能力をのばすうえですばらしい  ○インパクトのある実験  実験器具の工夫がすばらしい  「重い」「軽い」という体感→体重計による数値化がすばらしい。  ○理科の学習と日常につなげていく  学習後のハンガーを使った実験　子どもの生活経験に戻していく  大切なプロセス  ○専門監とのＴＴがすばらしい。  ○実験結果を考察する場面　まとめ　再実験を大切にしている  誤差，ミス　　←なぜそうなったのか考察することも大事 |

◎研究発表記録用紙

第（　６　）学年「　植物のからだのはたらき　」（湯沢市立雄勝中・佐藤　美千代教諭）

記録者（北六番丁小　藤原　俊輔）

|  |  |
| --- | --- |
| 発言者 | 内容 |
| 質疑・応答 |  |
| 指導・助言 | ○探求型の授業のプロセスが児童が身につけると学習の効率が上がる。  予想を大切にすることが主体的に学ぶ姿勢につながっていく。  学習の見通しが大切  ○子どもの予想から　実験を考えさせること。  実験方法　教科専門監を生かした専門性がすばらしい  結果　違いミス　なぜそうなったか　また新しい問いが生まれる　学習の深まり  ○日常や社会との関連が大事  生活経験から問い　→　理科の学習　→　日常の事象に返す。この流れが大事 |